

1. 研究の背景と目的

住宅で用いられる家電機器や熱源機器には、生活様式の多様化、利便性・快適性の追及などにより、多種多様なものが発売されている。また、住宅の設計や住まい方へ影響を及ぼすビルトイン型設備機器や大型機器も、多く使われるようになってきた。しかし、その種類数等の全体像やエネルギー消費については、十分に把握されていない。

本研究は、現在発売されている家電機器等の諸元を把握し、一部については過去のデータと比較してその変遷を把握することを目的とした。また、使用実態を調査することにより、使用者の視点から家電機器等の諸元を考察するための基礎資料とすることを目的とした。

2. 研究の対象と方法

住宅で使用される全ての家電機器及び熱源機器を研究対象とし、カタログ収集によって寸法・必要空間・能力・消費電力等の現状把握を行なった。このうちエアコン・洗濯機・冷蔵庫については、過去のデータと比較し、諸元の変遷を把握した。

また、エアコン・洗濯機・乾燥機・冷蔵庫について、集合住宅の居住者に対するアンケート調査を行い、機器の設置状況や使用方法の実態を把握した。

3. 研究内容

3-1. カタログの入手

以下の手順でカタログを入手した。

- ①建築設備、家電機器等に関する文献^{1)、2)、3)}より、関連メーカーをリストアップした。
- ②リストアップした146社について郵送などによってカタログを請求した。
- ③郵送による請求で応答の無かったものは、直接電話で再請求した。
- ④不足のカタログは秋葉原の店頭より補充した。
- ⑤数種の機器については、1985年以降の過去のカタログを住環境計画研究所より入手した（但し大手メーカーのカタログに限る）。

以上により一般カタログ553冊、総合カタログ32冊、過去の一般カタログ70冊、合計655冊のカタログを入手した。